

自分を標準にしない



昨今、考えられないような事件や災害が起こり、多くの人々が不安を感じる世の中になってきている気が致します。そんな時、何を標準にして物事を考えるかで、その人の生き方が決まってくるのではないのでしょうか。

多く人は、まず「自分」を標準に考えると思います。しかし仏教は、その危険性を説きます。「自分」を標準にすると、自分に都合の良いこと・都合の良い人だけを大切にし、都合の悪いこと・都合の悪い人の存在を抹殺しようとする心が起こるからです。

自分を標準にして考えてはいけません。また他人を標準にして考えるのもおかしい。

…それでは何を標準にして考えるのか、**法を標準とするのです。**

その法を学ばなければ何も出来ません。法というのは、自分の都合を中心に考えるのではなくて、目覚めた方が示す正しいものの道理に従って、**仏様が仰るお言葉を標準にして、ものを考えていくことです。**

『浄土から届く真実の教え』 梯實圓 著 より



「仏様を標準にせよ」と言われても、具体的にどうしたらよいかピンとこない方もおられると思います。それを梯實圓先生（浄土真宗本願寺派 勧学）は、「いつもお念仏と共に生きなさい」と教えてくださいます。

“慈悲のこころを起しなさい”と、仏様（阿弥陀様）が仰るのです。慈悲というのは人の悲しみをともに悲しみ、人の痛みをともに痛むようなこころです。…

「南無阿弥陀仏」と、この阿弥陀様が私の口にあらわれてくるということは、「どうぞ、私の言うとおりにものを考え、行動するようにしてください」ということが聞こえてくるのです。それが聞こえてきますと、私の周辺が変わってくるのです。どうして変わるかという、私のこころが変わっていくのです。一人ひとりのこころが、自分の生きる周囲、世界の状況の意味を変えていくのです。意味が変わってくると人生が変わっていきます。一人ひとりの、自分の人生が変わります。…

ですからお念仏は、**私がとなえているというよりも、そのお念仏が私の人生を動かしている**と思ったらよいのです。

私の心を変えることはたいへん難しいことです。しかし**阿弥陀様が私の心に入り満ち、私の心が変わられていくことが、お念仏と共に生きるということ**です。

不条理な世の中を変えることはできずとも、私たち一人ひとりの心が変わり、人生の意味を変えていくことはできる。そうすれば、少なくとも身近な周りの状況だけでも、変えていくことはできるのではないのでしょうか。

